

Narinki News

NARA AMT

No. 313

JUL.2020

一般社団法人 奈良県臨床検査技師会

〔事務局〕〒632-8552 天理市三島町 200

〔発行責任者〕勝山 政彦 〔編集責任者〕小林 昌弘

天理よろづ相談所病院 臨床検査部 (TEL) 0743-63-5611 (7439)

会 長 就 任 挨拶

奈良県臨床検査技師会 会長 勝山 政彦

今期も引き続き会長を務めさせていただきます、大和高田市立病院 勝山政彦です。併せて日臨技理事も担わせていただきます。よろしくお願い致します。

役員の変更が行われ新しい体制での活動になりましたが、中国湖北省武漢市を発生源とする新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延し、健康被害だけでなく社会、経済、政治にも大きな影響を及ぼし、いまだ終息の目途が立たない状態での始動となりました。日本でも緊急事態宣言が出され、テレワークや不急不要の外出は避けるなど、日常生活も様変わりしました。無事に緊急事態宣言解除となりましたが、まだ安心できる状況ではなく、より気を引き締めて活動する必要があります。

今期の技師会活動ですが、本来の役割を果たすべく、施設間や会員同士のつながりに重点を置き、互いに研鑽を積み、成長できる機会をつくりたいと考えています。施設代表者・施設連絡責任者との情報のやり取りを基に、奈臨技・各施設・各会員と「三方よし」を目標とします。若手には、「奈良若草の会」への積極的な参加を期待します。日臨技においては、現在新型コロナウイルス感染対応の活動が主ですが、法改正に伴う「タスクシェアリング」と「臨地実習指導者育成事業」を柱に活動を予定しています。

今回の新型コロナウイルス感染症では、当初からPCR検査が騒がれ、医療体制の不備が物議を醸しました。医療体制が整ってくると、検体を採取する要員、検査を実施する要員が不足していることが問題視され、続いてPCR検査実施施設間での検査能力の違いが報じられています。

先日、厚労省からPCR検査体制強化の研修実施について、都道府県や保健所設置市に通知が発出され、検体採取の基礎知識については日臨技が実施主体となり、実施研修（実技指導）については都道府県等が実施主体となり実施することが伝えられました。以上のことも踏まえ、奈臨技だけにとどまらず、国や県の行政及び日臨技とも連携し、活動することになります。

現在、新型コロナウイルス感染症による世界全体の死者数は、すでに40万人を超え、世界経済成長率は1930年代の世界恐慌以来最悪の経済成長率になるともいわれています。感染症の拡大は多くの人の命を奪い、国や社会を崩壊させてしまいます。しかし人類はこれまで何度も感染症と闘ってきた歴史があり、その都度乗り越えてきました。今回の事例も変革にいい機会だと前向きに捉え、今後の活動に活かす必要があります。今後はネット環境を利用した活動が中心になりますが、これを起点とし、奈臨技・各施設・各会員と、共に進歩していきたいと考えます。

皆様のご理解、ご協力をお願い致します。

2020・21年度 一般社団法人 奈良県臨床検査技師会 役員

役職	氏名	施設名
会長	勝山 政彦	大和高田市立病院
副会長渉外担当	中田 恵美子	奈良県総合医療センター 臨床検査部
副会長学術担当	倉田 主税	奈良県立医科大学附属病院 中央臨床検査部
事務局長	嶋田 昌司	天理よろづ相談所病院 臨床検査部
事務局・総務部長	田中 忍	奈良県立医科大学附属病院 中央臨床検査部
事務局・庶務部	片岡 美香	奈良県立医科大学附属病院 中央臨床検査部
事務局・庶務部	柳田 裕起	奈良県総合医療センター 臨床検査部
事務局・経理部長	上杉 一義	南奈良総合医療センター 臨床検査部
組織法規部長	西原 幸一	市立奈良病院 臨床検査室
学術部検査研究部門担当部長	森嶋 良一	奈良県立医科大学附属病院 中央臨床検査部
学術部精度管理担当部長	中村 彰宏	学校法人 天理よろづ相談所学園 天理医療大学
学術部生涯教育担当部長	小谷 敦志	近畿大学医学部奈良病院 臨床検査部
渉外部長	高木 豊雅	奈良県総合医療センター 臨床検査部
地域保健事業部長	西川 武	奈良県立医科大学附属病院 病院病理部
地域保健事業部公衆衛生担当部長	南田 貴仁	奈良県西和医療センター 中央臨床検査部
広報部長	小林 昌弘	天理よろづ相談所病院 臨床検査部
福利厚生部長	三角 由美	済生会中和病院
地区担当部長(中部)	木下 真紀	天理よろづ相談所病院 臨床検査部
地区担当(北部)(兼:渉外部)	栢尾 茂	奈良県西和医療センター 中央臨床検査部
地区担当(南部)(兼:事務局経理部)	山本 賢次	済生会御所病院
監事	西浦 宏和	大和高田市立病院 臨床技術科
監事	吉岡 明治	天理よろづ相談所病院 臨床検査部

LD および ALP の IFCC 法への切り替え 奈臨技としては 2021 年 3 月

日本臨床化学会が要望している LD および ALP の IFCC 法への切り替えは奈臨技としては各施設バラバラの切り替えは患者紹介などで施設外の臨床側に混乱を招く恐れがあることを配慮し、切り替え時期を出来るだけ統一すべきと模索してきました。奈臨技標準化委員会で話し合った結果作業が遅れている施設もあることを踏まえ、また現在新型コロナウイルス対応で負担が増えている施設の現状も考慮し奈臨技としての切り替え時期は日本臨床化学会が要望している最後の 2021 年 3 月としました（奈臨技理事会の承認済）。賛同できる施設は来年 3 月に切り替える準備をお願い致します。もちろんこれは強制ではありませんし、各施設の状況を踏まえて切り替える時期を考えていただいて結構です。なお LD および ALP の IFCC 法への切り替えの説明は日本臨床化学会のホームページ (<http://jscc-jp.gr.jp/>) を確認して下さい。また奈臨技とし若干補足した説明を奈臨技ホームページに掲載しています。

また LD および ALP の IFCC 法への切り替え時期が分かっている施設と時期をお知らせします

20 年 6 月：近畿大学奈良病院

21 年 3 月：県立奈良医大、天理よろづ相談所病院、奈良県総合医療センター、高田市立病院、市立奈良病院

2020.6 月

奈良県臨床検査技師会
奈臨技・標準化委員会
担当代表 猪田猛久

会員・施設状況 (2020 年 6 月 1 日現在)

[正会員数]	651 名		
[新入会]	13 名	[再入会]	0 名
[変更]	8 名	[退会]	2 名

2020年6月22日

会員 各位

一般社団法人 奈良県臨床検査技師会
会 長 勝山 政彦
学術部長 森嶋 良一

2020年7月以降の研修会、勉強会等の取り扱い（通知）

平素は、奈臨技活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、令和2年度奈臨技主催の研修会及び勉強会ですが、コロナ禍の下、通常開催が厳しい状態が続いています。緊急事態宣言は解除されたものの、第2波、第3波に備え継続した注意が必要であること、また、日臨技から「オンライン研修会等」に関する暫定措置が通知されたことを受け、今年度中は従来の開催方式を中止し、下記の通り開催することに決定しましたので通知いたします。

記

- 【開催方法】1. 研修会資料（動画 URL を含む）を配布（配信）する研修会
2. オンライン（Webex・Zoom等のWebシステム使用）研修会等

【取組期間】2020年7月1日～2021年3月31日

【参加方法】事前登録制で、申し込み時に、氏名、施設名、会員番号などを申告する。

【参加確認方法】参加者は2週間以内に研修会担当者へのレポートを提出する。

【生涯教育点数】レポート提出のあった会員を都道府県技師会にて登録を行い、
通常の研修会と同様の生涯教育点数を付与する。

【その他】1. 研修会等に関しては、それぞれの研修会等の案内で確認をする。
2. 本取り扱いの見直しは、毎月（通常理事会）にて行うが、状況変化に応じて随時行う。
ただし、以下のものは通常通りの開催を認める。

1. 県と協力して行う新型コロナウイルスの検体採取、PCR検査実施研修会
2. 奈臨技理事会にて承認されたもの

以上

<連絡先> 一般社団法人 奈良県臨床検査技師会 学術部長
公立大学法人 奈良県立医科大学 中央臨床検査部
森嶋 良一

<morisima@narmed-u.ac.jp>